

【議案の採決について】

<日本共産党は5つの議案に反対しました>

今議会には市長より20議案が提案され、共産党はごみ処理手数料有料化の議案を含め5議案に反対しました。他の全会派と無所属議員は、全ての議案に賛成しました。
反対した議案は次のような内容です。

1：給食調理場の廃止で、調理員を切りすて

改修していた姉崎とちはら台の給食調理場は工事が完了し、業務が再開されます。これに伴い南総、岩崎の2ヶ所の共同調理場が廃止されます。

長く働いてきた合計50名もの熟練の調理員の職場がなくなりました。雇用を失う事はくらしに直結し人権の問題です。全員が会計年度任用職員（パートタイマー）であり、立場の弱い職員は「雇用の調節弁」とされました。



2：軽自動車税の環境性能割の廃止



軽自動車の環境性能割は自動車取得時に、環境性能に応じた段階的な課税をするもので、国の税制廃止による変更です。環境政策からは後退します。

3：国の税制改正に伴う税条例改正

軍事財源のための戦後初の約1.3兆円の増税に関連した税条例改正です。

4：保育事業に関する 条例改正

国家戦略特区の特例措置が一般制度化され、保育環境の後退をすすめるものです。